第 33 回台日工程技術研討会・講師履歴書

お　名　前	小林　寛
ローマ字表記	KOBAYASHI　Hiroshi
最　終　学　歴	1989 年 3 月東北大学工学部卒業
専　門　分　野	道路構造物設計、耐震設計
ご勤務先・職位	阪神高速道路株式会社　保全交通部　交通技術課長
主　要　職　歴	阪神高速道路株式会社大阪建設部設計課長、同大阪管理部保全設計課長、阪神高速技術株式会社技術部長（出向）、独立行政法人土木研究所耐震チーム主任研究員（出向）
主要論文．著書	● Hiroshi KOBAYASHI, Shigeki UNJOH, Takumi KANOU：Development of an earthquake damage evaluation method for bridge structures using acceleration sensors, Structural engineering/earthquake engineering, Volume 25 Issue 1, 25s-32s, Japan Society of Civil Engineers, 2008.6 ● 小林寛, 運上茂樹, Mohammad Reza SALAMY: 大型ディープビーム部材のせん断耐力に関する実験的検討, コンクリート工学年次論文集, 27 巻 2 号, pp.829-834, 日本コンクリート工学会, 2005
講　演　テ　ー　マ	日本における道路橋耐震設計の変遷と最近のトピック
講　演　概　要	日本では古くから地震の記録が残されており、近年の調査で古記録の裏付けが取れたものもある。一方、約 150 年前より西洋の近代技術を導入し始めたが、1891 年の濃尾地震の際に輸入した近代技術には耐震設計は含まれていないことが明らかとなり、その後地震被害の経験を積み重ねて独自に耐震技術の改良を重ねてきた。 本講演では以上の歴史と耐震技術・耐震基準の変遷を紹介するとともに、近年の耐震技術に関する最新のトピックを紹介する。